

# JUNGIDO

1898 = 高 = 1995

1998年は創立100周年です

## 滋賀県立膳所高等学校同窓会報 遵義堂

発行人/宇野 勝  
 発行所/滋賀県立膳所高等学校同窓会  
 大津市膳所2-11-1  
 TEL0775-24-4295・0775-23-2304(校友課) FAX 0775-24-1732  
 発行日/平成7年4月15日  
 編集人/広報部会・谷口啓司  
 印刷/有限会社服部印刷所

VOL.6

### CONTENTS

創立100周年記念事業実行委員会設立総会開かれる	1
平成7年度総会のお知らせ	1
創立100周年記念事業実行委員会設立総会議事録	2
周年記念同窓会案内	4
同窓会活動報告	5
同窓会費納入のお願い	5
同窓生投稿欄	6
震災見舞い	6
OB近況報告	7
膳所高NEWS	8
膳所高生今昔	8

# 創立100周年記念事業実行委員会 設立総会開かれる!

いあいさし

100周年記念事業実行委員会  
滋賀県立膳所高等学校同窓会会長  
宇野 勝



滋賀県立膳所高等学校同窓会会員の皆様方には、ご健勝にてご活躍のことと拝察致します。

まず、今回の兵庫県南部地震でお亡くなりになられた方々とそのご遺族に対し深く哀悼の意を表しますとともに、被災地の皆様方に心からお見舞い申し上げ、一日も早く復興されますことを切に希うところであります。

さて、去る2月4日、大津プリンスホテルにおいて、100周年記念事業実行委員会設立総会が、関係各位ご参集のもと盛大に開催され、平成10年に迎える本校創立100周年記念式典へ本格的なスタートを切りました。

今更申し上げるまでもなく、事業推進の基盤には、学校側・PTA側の合意のもとに同窓会と三位一体となり、第三セクター方式による協力体制のもとに組織強化を図り、具体的な問題につき、活動力を高めることとなりました。

同窓会においては、平成4年に本会の組織を財務部会、広報部会、組織部会、総務部会、事業部会の五部会制とし、組織の活性化を図るとともに、活動の三本柱「①組織の強化、②財政基盤の確立、③同窓会の関心高揚(情報活動の定着化)」を設定し、目標達成に邁進、具現化に努力してきたところであります。今回の実行委員会の設立により、愈々具体的に母校の更なる充実、発展のための対応策に着手することとなりました。

記念式典まで残すところ3年余りとなり、いくつものハードルを越えていかなくてはなりません。各位の皆様方におかれましては、何卒、母校並びに同窓会の現状にご理解頂きますと、一層のご協力を賜りますようお願い致します。

100周年に向けて  
大きく前進



平成7年2月4日午後3時より、大津プリンスホテルにて、膳所高校創立100周年記念事業実行委員会設立総会が、122名(常任理事67名、実行委員55名)出席のもとに開催されました。

開会の辞に続き、阪神・淡路大震災犠牲者の冥福を祈り、出席者全員黙祷しました。  
宇野勝実行委員長挨拶に始まり、武原博学校長、横田高和PTA会長の挨拶があり、出席された歴代学校長の紹介もありました。

飯田常任理事より、設立までのくわしい経過報告があり、引き続き議長として宇野勝会長が選出され、設立総会議案書にもつき、議事が進行されました。  
①会則 ②組織図 ③役員・委員名簿 ④事業報告  
各議案も万場一致で可決され、いよいよ100周年に向けて大きく前進しました。

最後に、膳所・大津東高・膳所高と三世代にわたる校歌が全員で唄われ、歌詞を読みながら、なつかしい思いで聞き入る人、唄う人あり、無事に総会も終了しました。(宮崎)



会費納入ありがとうございました。

### 同窓会会費納入状況

昨年4月から納入いただいております、平成6年度の同窓会会費は、平成7年2月末日現在、

総額 **13,902,000円**

に達しました。

会員の皆様のご理解に感謝すると共に、ますますのご協力をお願いいたします。

今回、振替用紙を同封させていただいた方は今年度会費が未納となっております。ご納入いただくようお願いいたします。

くわしくは5ページをご覧ください。

(財務部会)

なお、出席の方及び、住所等変更の方は同封のハガキでお知らせください。

- 講演 “政界再編の見通し”  
講師 長崎和夫氏  
(膳所高10回卒 毎日新聞社論説委員)
- 懇親会 懇親会に出席される方には会費として10,000円を当日徴収させていただきます。

- 講演 “政界再編の見通し”  
各部会報告
- 懇親会 懇親会に出席される方には会費として10,000円を当日徴収させていただきます。

- 議事 平成6年度会務報告  
会計報告  
会計監査報告

- 場所 琵琶湖ホテル  
TEL0775-24-1255

### 平成7年度 同窓会総会

- 日時 平成7年5月14日(日)  
午前9時30分受付開始

創立100周年まで、あと3年余り。100周年記念事業実行委員会も設立、いよいよ本格的に100周年記念事業に取り組みました。勿論これが出発点であり、第一段階の組織である事は言を待ちません。そのような意味からも、総会や実行委員会にできるだけ多くの卒業生がご参加くださり、色々なご意見を賜りたく存じます。

### 平成7年度 総会のお知らせ

総会は毎年5月の第2日曜日です。多数のご参加をお待ちしています。

# ●創立100周年記念事業実行委員会設立経過報告

1998年(平成10年)5月、膳所高校は創立100周年を迎えることになりました。

この記念事業に際しての出発点は創立90周年の時点で既に始まっていたと言っても過言ではないと思います。当時の執行部のもと、90周年に対し如何に取り組みかと言ったことに関し議論百出、結果として100周年を迎えるステップとなるよう、力を蓄えるための90周年という趣旨に基づいて、90周年事業が実施されたように聞き及んでおります。そして、平成5年5月の同窓会定時総会にて、創立100周年記念の諸事業に際して常任理事会に一任すべく決議されました。

これを受けて平成5年9月「100周年準備委員会」の設立が同窓会役員会に於いて承認され、学校関係の対応を待つこととなりました。

一方、学校側では「100周年校内企画準備委員会」が組織され、数回に亘る協議のうえ事業内容等に関する学校としての素案を決定され、同窓会に報告いただいたのであります。

同窓会としては、これを受ける形で同窓会独自の素案を検討、学校案とすりあわせをしながら最終案を決定しようということになりました。

こうした経過のもと、平成6年4月に「100周年記念第一次準備会議」が開催され、100周年記念事業の組織は、学校・PTA・同窓会の三者が一体となって組織構成し、併せて既存の組織から独立した形を取り組んでいくことが合意され、会則・組織構成等の原案作りに着手いたしました。

このことは同年5月28日開催のPTA役員会で報告、了承され、また、校友課より100周年に向けての協力が要請されました。同時に同窓会に於いても企画委員会・企画小委員会を構成し、幾度も会合を重ね、原案作りを進めていきました。

同年9月には学校側に於いても「100周年校内企画委員会」が発足、同窓会素案とのすりあわせが始まりました。10月には同窓会の企画委員会で「100周年記念事業実行委員会」の素案がまとまり、学校・PTAとの三者合同による企画委員会を提唱、「100周年校内企画委員会」での承諾をいただき、平成6年11月、平成7年1月に「三者合同企画委員会」を開催、協議のうえ三者の統一案をまとめあげ、これを原案として、「100周年記念事業実行委員会設立総会」に提案させていただきました。

## (附記)

以上のような経過からご推察いただけること存じますが、設立総会時の議案につきましては全て現段階におけるご提案事項であり、今後各部署、役員会で活動ご協議いただくなかで、変更・追加されていくものと考えております。事務局といえども、必要に応じて連絡会議、役員会等を企画開催し、より多くの方々のご協力をいただきながら実りある100周年記念事業の遂行に努めてまいりたいと思っております。本議案書に参考資料として、委員就任をお願いしている方々の名簿を添付させていただいております。

設立総会のご案内はこの方々を中心にご送付させていただきましたが、まだまだ多くの方々にご協力いただかなければと考えております。なにとぞPTA会員、学校教職員関係者、そして同窓生諸氏に幅広くご参画いただきますよう皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## ●会 則

### 滋賀県立膳所高校 創立100周年記念事業実行委員会会則

#### (名称・事務所)

第1条 本会は、滋賀県立膳所高校(以下「膳所高校」という)の創立100周年記念事業実行委員会を称し、事務所を滋賀県大津市膳所2丁目1番1膳所高校内におく。

#### (目的)

第2条 本会は、膳所高校創立100周年を記念して、膳所高校発展の跡を顧み、これを契機として学校教育活動の充実・向上に資するための事業を企画し、更なる進展を図ることを目的とする。

#### (事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。  
(1) 記念式典及び記念行事の実施  
(2) 100周年史の記録、編纂及び出版  
(3) 100周年記念環境・施設整備等の事業  
(4) その他上記の各号に付帯する一切の事業

#### (組織)

第4条 本会の、会務を円滑にすため、かつ事業目的を達成するため次の専門部会を置く。

- (1) 記念行事・式典部会
  - (2) 100周年史記録部会
  - (3) 環境・施設整備部会
  - (4) 組織・名簿部会
  - (5) 募金推進部会
  - (6) 広報部会
  - (7) その他常任委員会で必要と認められた部会
- 2 前項の各部会には、部長1名、副部長若干名、部会員必要名を置く。
- 3 本会に、事務を処理するため事務局を置く。
- 4 前項の事務局には、事務局員若干名を置く。

#### (構成)

- 第5条 本会に次の役員を置く。
- 実行委員長 1名
  - 副委員長 若干名
  - 常任委員長 1名
  - 常任委員 若干名
  - 事務局員 1名

- #### 会 計
- 若十名
- 監 事 若十名
- 2 本会は、膳所高校教職員、PTA及び同窓会より選出されたものをもって構成する。尚、役員以外の委員は、各専門部会、事務局のいずれかに属することとする。

#### (役員)の職務

- 第6条
- 実行委員長は、本会を代表し、その会務を総括する。
- 2 副委員長は、実行委員長を補佐し、委員長に支障があるときは、その職務を代行する。
- 3 実行委員長及び常任委員は、実行委員長の命を受け、所掌会務を推進する。
- 4 事務局員は、事務局を統括する。
- 5 会計は、実行委員長の命を受け、実行委員会の会計に従事する。
- 6 監事は、会計を監査し、実行委員会総会に報告する。

#### (役員)の選出

- 第7条
- 実行委員長、副委員長、常任委員及び監事は、実行委員会において選出する。
- 2 常任委員長は常任委員の互選により選出する。
- 3 その他の役員は、実行委員会総会の推薦にもとずき、実行委員長が、委嘱する。

#### (役員)の任期

第8条 役員は、本事業の完了までとする。

#### (顧問・参予)

第9条 本会に、顧問、参予を置くことができる。

#### (会議)

- 第10条 本会の会議は、実行委員会総会、常任委員会及び各専門部会とする。
- 2 常任委員会は、第5条の役員をもって構成する。
- 3 実行委員会総会、常任委員会は実行委員長が招集する。
- 4 各専門部会は必要に応じ、担当の部長が招集できる。
- 5 会議の議事は、出席者の過半数をもって決議することができる。

#### (経理)

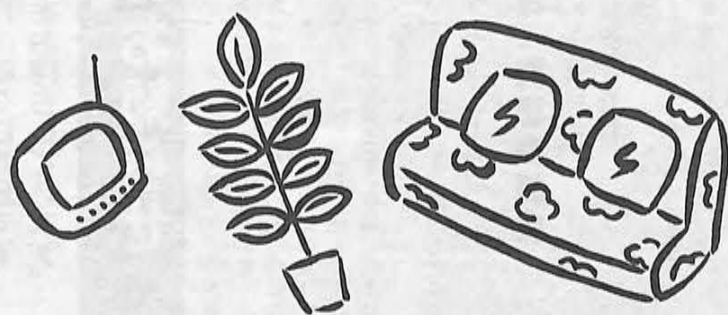
第11条 本会の経理は、寄付金及び拠出金による。

#### (解散)

第12条 本会は、その目的である事業の完遂によって解散する。(残余財産の処分)

## ●事務局員紹介

若代敦子さん  
同窓会事務局に専任の事務局員が誕生。ただ9:00~5:00のフルタイムという訳にはいきませんので、松尾さんも補佐に、二人体制でいきます。パソコンやFAX、コピーも常備し、やっとな事務局の形が整ってきました。後は内容の充実です。卒業生の方々もお気軽に事務局へお越しください。また、20人前後の会議もできます。奮ってご活用ください。



# さあ 創立100周年に

## 創立100周年記念事業

第13条  
解散に伴う清算の結果、会計に残余の予算が生じたときは、実行委員会総会の議決により処分する。

付則  
この会則は平成7年2月4日から施行する。

膳所高等学校創立100周年記念事業実行委員会  
会議の運営について

実行委員会の会議（第10条関係）その他議事の運営に  
関し必要な事項を定めることを目的とする。

第1条

（実行委員会総会）次の事項を審議する。

- (1) 会則の制定及び改定
- (2) 役員を選定
- (3) 顧問及び参与の推薦
- (4) 事業計画及び事業報告の承認
- (5) 予算及び決算の承認
- (6) 本会の解散の決定
- (7) その他本会の重要事項

第2条

（常任委員会）専門部会の提案を審議し、実行委員会の諸活動・諸事業の企画、運営調整に当たる。

第3条

（専門部会）所掌会務について企画立案し、会務を掌理して、その遂行に責任を持つ。

2 部長は、常任委員会の承認を得て、小部会を設置し、補佐させることができる。

第4条

この定めるもののほか、会議の運営について必要な事項は、実行委員長が、常任委員会にはかって定める。

### 〈各部会の人員〉

副部長 3名程度

委員 若干名（当座は10名位で逐次増員）

### 〈会議の種類〉

- ① 実行委員会総会
- ② 常任委員会（2ヶ月に1回程度開催）
- ③ 拡大常任委員会（3ヶ月に1回程度開催）  
（常任委員および顧問・参与・副部長）
- ④ 部長会議（1ヶ月に1回程度開催）
- ⑤ 部会（随時）

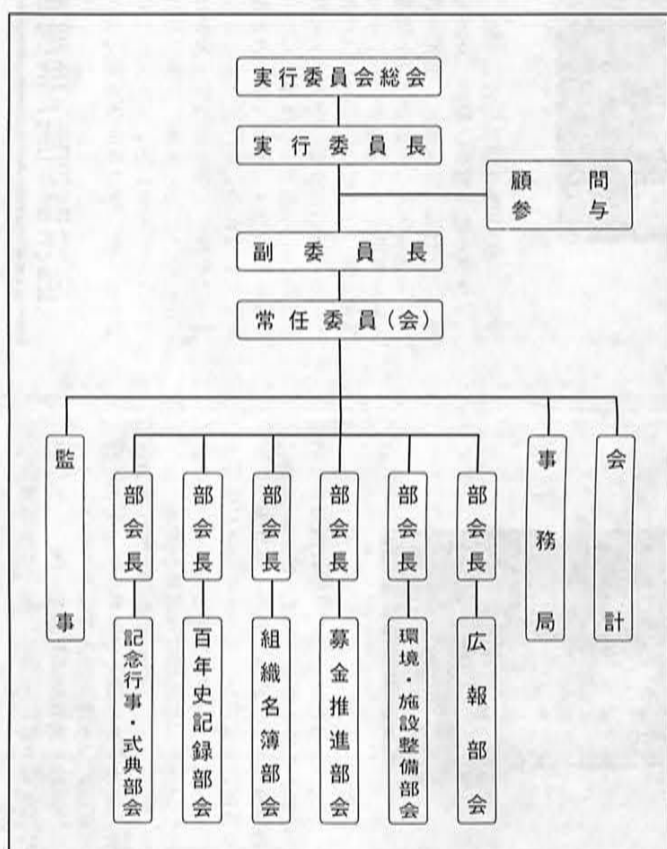
### ● 実行委員会役員

実行委員長 副委員長	○宇野 勝 (D) (現同窓会会長) ○岩崎栄三 (D) (名誉会長、前同窓会会長、元PTA会長) ○武原 溥 (G) (現学校長) ○横田高和 (P) (現PTA会長) ○西村政之 (D) (県議代表) ○ (D) (現関東膳高会会長) ○ (D) (現阪神膳高会会長) ○ (D) (現京都膳高会会長) ○宇野敏一 (D) (現同窓会副会長)
常任委員長 副委員長	○飯田勝一 (D) ○石田 克 (G) ○山本正史 (通・教頭・G)
部	記念行事式典 部長 ○村西康彦 (G) 副部長 ○桐山輝雄 (P) 副部長 ○織田勝美 (D)
	百年史記録 部長 ○上野滋子 (D) 副部長 ○更家周子 (P) 副部長 ○富江 宏 (G) 副部長 ○服部 章 (D) 副部長 ○佐田葉子 (D)
	組織名簿 部長 ○岡角憲次 (D) 副部長 ○村田敏和 (G) 副部長 ○桂 順治 (P) 副部長 ○今市信夫 (D)
	募金推進 部長 ○石川 孝 (D) 副部長 ○藤田健三 (G) 副部長 ○宇野房子 (P) 副部長 ○高城宗求 (D)
	環境・施設整備 部長 ○阪田 順 (D) 副部長 ○武舎 昇 (P) 副部長 ○澤高 博 (G) 副部長 ○服部正章 (D)
	広 報 部長 ○松平智康 (D) 副部長 ○福井 浩 (G) 副部長 ○本村幸子 (P) 副部長 ○谷口啓司 (D)
会 計	○東郷利夫 (D) ○上田事務長 (G)
事 務 局	○泉谷千秋 (D) ○新川 均 (D)
監 事	○沢井すみ子 (D) ○渡辺元PTA会長 (P) ○百岳光好 (D)
常 任 委 員	○井上太刀夫 (G)
顧 問	中央省庁関係 北川力夫 平井磨礪夫 梅澤節男 井上孝男 的場順三
	経済界関係 井狩弥治郎 上西克二 岩崎新定 大宮 隆 山口善造
参 与	山田耕三郎 (元参議院議員) 中村鋭一 (参議院議員) 佐藤茂樹 (衆議院議員) 白倉一路 (県会議員)

平成6年10月29日現在

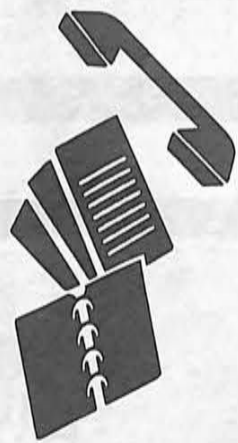
○は常任委員 (G)=学校側 (P)=PTA側 (D)=同窓会側

### ● 組織図



### 100年史記録部会からお願い

100年史記録誌の発刊にあたり、資料や写真等の収集にとりかかっていますが、資料や写真等の資料が足りておりませんが、懐中時代の資料が特に不足しております。お手持ちの貴重な資料がございましたら、同窓会事務局まで一報ください。また資料室を設け、資料の常設展示も検討しておりますので、ぜひとも皆さまのご協力をお願いいたします。



# 周年記念同窓会



## 宮崎県在住膳所高同窓会

平成7年2月25日、宮崎市内のホテルにて、第2回目の宮崎県在住膳所高卒業生の集まりを開きました。県内には10名の卒業生が在住しており、内7名が集まりました。母校と湖国の思い出や近況に話はずみ、大いに盛り上がりしました。

この会は昨年できたばかりで、今回は間に合いませんでしたが、通信課程の卒業生も数十名在住しており、大きく輪を広げて開きたいと考えています。さらに九州各県の在住者とも交流ができるのを楽しみにしています。(昭和46年卒膳所高19回鳥越 清)



## 霜月会(大津高1回)

昭和25年の卒業以来、若干の中断はあったもののほぼ毎年続いて来た、しかも高校2年の時の同級会が霜月会です。

さて、昨年の霜月に行われた例会は安土・近江八幡・五箇荘を巡る小さな旅でした。

安土では信長の館と安土城址、近江八幡と五箇荘では近江商人の資料館を、また五箇荘では我々の先輩に当たる作家の外村繁さんの生家、帰りには蒲生野の額田王の歌碑を訪ねる一泊二日の旅でした。参加者は23名、1クラスとしてはよく集まってくれましたが、人生の秋を迎えている今、いろんな思いを乗り越えてもともと多数のクラスメイトが集まれる会になればと念じています。

(丹波道明)



外村 繁さん生家前にて

## 関東在住同窓会(膳所高16回)

膳所高昭和43年卒、関東在住者の集いを、去る9年11月26日、東京パレスホテル内「アイビーハウス」にて開催。約70名の同級生に案内を出したところ、当日、男23名、女8名、計31名が参加しました。26年振りに出会う面々がほとんどで、卒業アルバム片手に、往年の紅顔の美少年、マドンナの面影を追い求め、一喜一憂、しばし郷愁…。同期ならでは共通の話題、昔日のマドンナとの再会に感激する者と、和気あいあいの中に二次会、三次会へと、延々8時間にも及ぶロングラン、となりました。故郷を遠く離れた所ゆえ、郷愁もひとしお…。幹事持ち回りで、年に1回は開く事を計画。関東在住の同期の方、関東へ転勤、転居の方々、是非とも御一報ください。(文責 川島康夫、幹事 川那辺吉三・倉田(堀井)節子)



## 旧制三九回物故者50回忌法要挙行(膳所39回)

旧制三九回生は昭和16年3月卒業127名に転校中退を含め147名で「三九会」を組織、現在95名生存、71才をこえて全員の情報確認連絡可能を誇りにしている。

古い話だが去年9月11日戦没者(物故者)52名中21名を占める)50回忌を主に全物故者の法要を山赤野井別院で級友谷直光師の導師で会員53名、恩師(上村)先生、辻元先生、遺族代表望月長司氏をお招きして盛大に挙行了。20才をこえてビルマ、比島、ニューギニア、中国、シベリアの各地にわたる前途有為の青春を散らせた彼らに思いをはせる時、50年無事生かして頂いた我々、唯々彼らに慰めの誠を捧げることこそ生き残りの務めではなからうか。

読経焼香のあと、山根の追悼の辞は一人一人に語りかけるごとく哀切を極め胸をしめつけるものがあった。そのあと全員起立校歌合唱、更に望郷の念にかられつつ南の海に漂い、ビルマのジャングルをさまよった友を偲んで唱歌「兎追いかの山」(菜の花島に入日すれ)を静かに歌えば彼らの最期が髪髻として浮かび熱いものがこみ上げて来た者も多かった由。

法要終わり、あとは湖上に船を浮かべ釣遊びの予定のみ、時悪く琵琶湖は異常渾水最悪の時で船も出せず止むなく料亭鮎市の座敷で会食、遠く東京、四国から来た友と歓談の一時をもった後、また1年後の再会を約して解散した。

尚、今般の震災では該当地区に4人いて安否が気遣われたが日頃の連絡の疎く、二、三日目に何れも物損はかなりあるが、人体無事の連絡が本人から入り、それをすぐ会報号外として95名全員に速報したのが4日目、対応の早さを皆から喜ばれた次第。互いに連絡は密にしたいものである。

(世話人 山根 晋)



## 周年同窓会 予告

多数のご出席を  
お待ちしております。

### 昭和50年卒業(膳所高23回)

卒業20周年記念同窓会  
・平成7年9月15日(金)午後1時  
大津プリンスホテル  
・幹事 妻(妻山)永根  
TEL0775・37・3128(自宅)  
TEL0775・33・3151(大岡)

### 昭和60年卒業(膳所高33回)

旧三年七組卒業10周年記念同級会  
・平成7年4月8日(土)午後3時  
With You(京都・寺町錦上ル)  
・幹事 加藤昌哉・石川智康・中村由起子  
TEL0775・642・9037(加藤)  
TEL0775・23・5826(石川)  
TEL0775・92・1069(中村)

### 昭和40年卒業(膳所高13回)

卒業30周年記念同窓会  
・平成7年秋に予定  
未定  
連絡先 山本哲夫  
TEL0775・63・9448



# 1965 = 高 = 1995

## 昭和40年卒業(膳所高13回)卒業30周年記念同窓会

昭和40年卒業の皆さん、今年は30周年です。今秋に記念同窓会開催予定。多数ご参加を!

## 平成7年度 同窓会総会

5月14日(日)開催  
多数のご出席をお待ちしています。  
くわしくは一面をご覧ください。

# 同窓会活動報告

## 会費未納の方へ

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 滋賀県立膳所高等学校同窓会 平成7年度年会費納入のお願い

同窓会会員の皆様には、同窓会活動にお力添えをいただきまして誠にありがとうございます。  
平成7年度会費未納の方は同封の振替用紙にて納入ください。  
なお、住所等に変更がある方は振替用紙の裏面にご記入をお願いいたします。

〔会費額〕	年会費	3,000円
	5年会費	15,000円
	10年会費	30,000円

記  
いずれかの会費を選択のうえ納入していただきますが、誠に恐縮ではございますが、できる限り、5年または10年会費の納入をお願い申し上げます。  
新卒の同窓生は、卒業後4年間は卒業時に納入する入会金3,000円のみとします。  
〔納入機関〕(振替用紙は共通です)  
郵便局 01010-3-30378  
銀行 滋賀銀行 本店(110) 普 913381  
びわこ銀行 本店(111) 普 335940

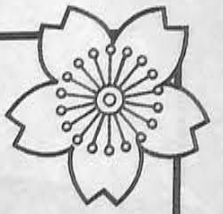
いずれも名義は、  
滋賀県立膳所高等学校同窓会会長 宇野 勝 です。  
※同窓会からの領収書は発行していませんのでご了承ください。



## まぎらわしい 名簿にご注意!

最近「滋賀県立膳所高等学校同窓会名簿」と称する名簿の出版が宮城県のある業者で断断で企画され、会員の皆さんに調査カードが送付されているようです。発行にあたって、こちらへの事前連絡や断りも一切なく、本校の同窓会とは全く関係がありません。本校では100周年に向けて、平成9年ないし10年頃の発行予定です。まぎらわしい名簿にどうぞご注意ください。(校友課 沢島)

## 新・入・会・員



### 「同窓会入会にあたって」



平成7年卒業(膳所高43回)  
自治医科大学  
安齋 祐子

一年の時、二年の時、三年の時、それぞれにつらい事、楽しい事、落ちこんだ事、すべてに一生懸命だったような気がします。特にめぐり会った友達との様々な思い出は、その場面とともに私の宝物です。今、卒業を前にして、ある一つの素晴らしい時代が終わろうとしている淋しいことです。

私たちが、これから歩いていく人生の中で沢山のかわり合いを体験すると思いますが、この膳所高校同窓会というかわり合いも、きっと何かの支えとなつて、私を助けてくれると思うととても心強く思います。先日の阪神大震災の時、人と人とのつながりがいかに大切かということ、人は人の中で生きていくものであるということを感じさせられました。これから先、私は自分も他人も大切にして生きていきたいと思えます。膳所高校がいつまでも私たちの誇りであり続けますように。

## 事務局日誌

1994年	4・5	100周年記念第一次準備委員会
	4・9	100周年記念第一次準備会議
	4・19	100周年記念特別部会第1回企画委員会
	4・20	同窓会総務部会
	4・23	会計監査
	5・8	100周年記念特別部会第2回企画委員会
	6・13	同窓会第1回役員会議
	6・22	同窓会、PTA協賛による新旧校長歓迎会
	7・9	同窓会第2回役員会議及び総会反省会
	7・16	第1回部会長会議
	8・18	100周年記念事業第1回連絡調整会議
	8・26	同窓会第3回役員会議
	9・7	第1回広報部会
	9・17	第2回広報部会
	9・24	100周年記念第2回連絡調整会議
	10・7	同窓会第4回役員会議
	10・8	第1回100周年記念事業三者合同企画委員会
	10・24	第3回広報部会
	10・29	第4回広報部会
	11・12	第1回100周年記念事業企画委員会
	11・14	第2回100周年記念事業三者合同企画委員会
	11・14	同窓会第5回役員会議
	11・14	同窓会第6回役員会議
	11・14	同窓会第7回役員会議
	11・14	同窓会第8回役員会議
	11・14	同窓会第9回役員会議
	11・14	同窓会第10回役員会議
	11・14	同窓会第11回役員会議
	11・14	同窓会第12回役員会議
	11・14	同窓会第13回役員会議
	11・14	同窓会第14回役員会議
	11・14	同窓会第15回役員会議
	11・14	同窓会第16回役員会議
	11・14	同窓会第17回役員会議
	11・14	同窓会第18回役員会議
	11・14	同窓会第19回役員会議
	11・14	同窓会第20回役員会議
	11・14	同窓会第21回役員会議
	11・14	同窓会第22回役員会議
	11・14	同窓会第23回役員会議
	11・14	同窓会第24回役員会議
	11・14	同窓会第25回役員会議

## 膳所高校卒業生寄贈図書 「石鹿文庫」

著者名 書名・巻次(版次)

- 草津市史編さん委員会(小林 博) 草津市史1〜7
- 琵琶湖編集委員会(小林 博) 琵琶湖その自然と社会
- 大阪市立大学文学部紀要(小林 博) 人文研究地理学第35巻第10分冊
- 草津市立街道文化情報センター(小林 博) 年表にみる草津のあゆみ
- 滋賀県地方史研究家連絡会(小林 博) 近江の天保一揆記録集I
- 滋賀大学教育学部同窓会会報(川崎 源) 会報百周年記念号26号1975
- 近鉄 広報室 ひかり故佐伯名譽会長追悼号
- 読売新聞大阪本社政経部 ニッポンの経営者
- 大阪学院大学商学会(三橋時雄) 大阪学院大学商学論集第13巻第1号
- 竹内将人 膳所六万石史
- 桑原知子 別冊発達カウンセリング入門
- 大谷雅彦 もう1人の私 甦る神々
- 苗村和正 北村宗龍
- スワミ・チダナダ 近江国野洲の中世
- スワミ・ヨーガスク・ルバナナダ 産土野蔵神社のあらまし改訂
- スワミ・ヨーガスク・ルバナナダ 夜明けへの狼火
- スワミ・ヨーガスク・ルバナナダ 流れる
- スワミ・ヨーガスク・ルバナナダ 歴史に残る悠紀の国近江
- スワミ・ヨーガスク・ルバナナダ 日本史のなかの湖国
- スワミ・ヨーガスク・ルバナナダ ヨーガといのちの科学
- スワミ・ヨーガスク・ルバナナダ ヨーガとからだの科学

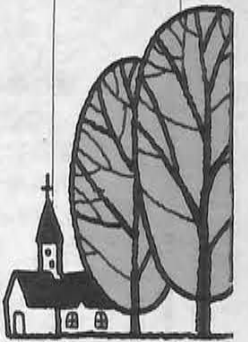
## 卒業生文庫「石鹿文庫」へご寄贈を。

同窓生の著書を集めた「石鹿文庫」も皆様の寄贈で充実してまいりましたが、さらなる充実をめざしてご協力をお願いします。なお、ご寄贈いただく際には同窓会事務局までお知らせください。

## 「お名前広告」募集しています。

掲載内容/卒業年度・卒業回  
勤務先・お名前・住所・TEL/1枠二万円  
お申し込みは同窓会広報部まで。

# 同窓生投稿欄



## ジャカルタで頑張っています。 膳所高南十字星会

丸尾 隆氏 昭和28年卒業（大津東1回）

それは、ふとした偶然からスタートした。二ヶ月に一度開催される南インドネシアのジャカルタ・ジャバパンクラブ機械部会の親睦ゴルフ会でパートナーの関西弁紳士、近藤氏と交わした会話からだった。

私 「近藤さん、あなたは関西の出身？」

近藤氏 「ええ、滋賀県の野洲です。」

私 「え？私も大津ですが、高校は？」

近藤氏 「膳所高です。37年卒業です。」

私 「なんや。ほな、俺の後輩やないか。」

（この辺から会話がぞんざいになる。）

近藤氏 「ほかに膳所高出身がいます。」

一度集まりますか？」

この会話がきっかけとなって、膳所高ジャカルタ支部、別名膳所高南十字星会が発足した。

1994年5月12日、炎熱のジャカルタ郊外バームビル・カントリークラブで、膳所高OBゴルフコンペが大々的に(?)催された。

参加者は前出の近藤勝彦氏（インドネシア・ユアサ電池社長 膳所高37年卒 野洲出身）、

岸本 浩氏（インドネシア日本電池社長 膳所高38年卒 草津出身）、

萩内嘉人氏（伊藤忠商事ジャカルタ支店 膳所高46年卒 草津出身）、

それに私（インドネシア・いすゞ・エンジン会社副社長

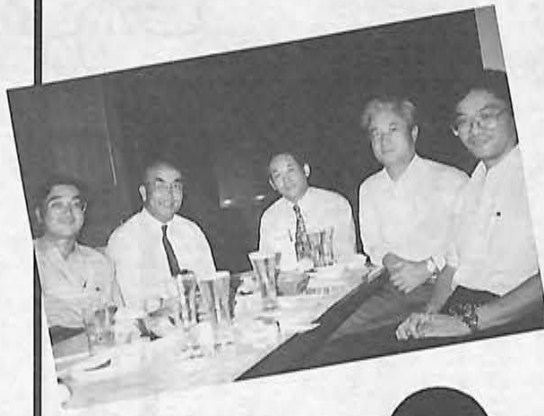
長 伊藤忠より出向 大津東高28年卒 大津出身）

以上4名が、この日も先輩・後輩の意識なく(?)日頃の腕前を披露しゲームに熱中した。ゴルフの結果は？ 私の手元には4名がサインしたスコア・カードがあるが結果は伏せる。

唯、6月に5年の駐在を終え、帰国が決まっていた私に、礼儀正しい可愛い後輩が饒別をくれたばかりか、後日ジャカルタの超一流日本料亭で膳所高南十字星会第一回会合兼送別会を催してくれ、その後、これも超一流ナイト・クラブでカラオケ大会に流れ、「琵琶湖周航の歌」を、最後に大合唱した事を付け加えておく。

6月、インドネシアを去る際、岸本・萩内両氏はわざわざ空港まで見送りに来てくれた。その時は「日本に帰国したら同窓会報にジャカルタ支部結成の報告をする。」と約束しながらも、忙しさにかまけ、今まで遅れた事をこの紙面でお詫びしたい。南十字星輝く炎熱の地インドネシアで、今も尚三君はそれぞれの分野で重責を担い大活躍中である。

インドネシアは中国と並び、今後日本にとって極めて重要なアジアの市場であり、今後も我が膳所高出身者が活躍する機会が多くなると思う。過酷な生活環境・慣れない言葉などで仕事は必ずしも順調にはいかない。ふとしたきっかけで結成された膳所高南十字星会。これが単なる同窓生の集まりだけに止まらず、お互いの激励と後輩育成の場となり、何時までも意気軒昂な道義堂健児の活力源となることを祈念し、報告を終えたい。



喜多(松村)希見子 昭和24年卒業(旧大津)

大震災 固まりて鳴く寒鴉  
アドレスに二人の計線 夢見月  
隠れても跳いて来る犬 冬満月

福島笑子 旧職員

湖の朝夕の風光を眺め、若々しく明るく、若々しく美しく、若々しく楽しく、そしてたくましくと心がけて。

加賀田薫 昭和59年卒業(膳所高32回)

「UNGLIDO」毎回楽しみに読ませていただいております。会報を見ながら昔を思い出したり、こんなふうにもみんなが頑張っておられる。と刺激を受け、元気が出てきます。本当にありがとうございます。ますますの発展、祈念いたします。

●この投稿欄を自由にお使いください。

## 震災見舞い

被災地の早期復興を願って

関西が震え、多大な被害を残したあの阪神大震災から早三ヶ月。日本の内陸部で起きた直下型地震では、昭和48年の福井地震から半世紀ぶりの大地震といふことですが、まさか関西でこんな大地震が起こるとは、あまりに突然のことでした。「怖い！」生まれて初めて、地震に対する認識が変わった瞬間でした。(関東大震災や福井地震をご経験の方は、その当時を思い出されたことでしょうか。)

被災された多くの方の中には、母校の校友もおられます。平成3年度卒業の磯部純子さん(神戸大学教育学部4回生)は、家屋倒壊のため若い命を断たれました。心よりご冥福をお祈り致します。また被災された多くの方には、謹んでお見舞い申し上げます。しかし、この震災では大きな代償を払って、多くのことを学びました。関東に比べ地震に対する防災意識の低い関西でも、日本列島にひしめく活断層を知らせめて家庭でできる防災対策を試みるでしょう。非常持出袋の用意、水の汲み置き、家具の配置など。頭を守る防災頭巾も役に立つといえます。「忘れた頃に:」ではなく、「備えあれば:」でありたいと思います。

膳所高では生徒会が主体となって、2月末日までに義援金として約48万円(100周年記念事業実行委員会設立総会で集まった7万円を含む)を集め、被災地へ贈っています。被災地の一日も早い復興を願います。(本多)

## 膳所高生徒が義援金 滋賀本社に48万円

大津市の膳所高の生徒有志が十四日、街頭募金などで集めた阪神大震災の義援金四十八万五千五百三十二円を京都新聞滋賀本社に届けた。

生徒会の呼びかけで一月下旬、一、二年生約五十人が約一カ月間、通学時間に校門前で、放課後は膳所、石山駅前や西武百貨店前で募金活動を行った。「協力してくれる人が思ったより多かった」という。

「阪神大震災では、避難所の被災者がふるも満足に入れないなど、文化的な生活ができないことに一番ショックを覚えました。募金は被災者が普通の生活に戻れるよう役立ててほしい」と有志代表の二年生中井友昭君(一七)は話していた。 京都新聞(3月15日)より

## 立て翔べ50

青春いまひとたび、熱き思いを胸に、昭和38年卒業生が春の湖周路を駆ける琵琶湖一周駅伝。

4月16日(日)

午前8:00 奥琵琶湖東・西回り同時スタート。  
午後5:00 膳所高へゴール。

東 四 会 長 椿 鐵夫

昭和44年卒業(膳所高17回)  
(有久保奎文堂、泰平保全)  
代表取締役 久保 泰幸  
本店 大津市膳所2・9・11  
TEL 0775・24・3535

## 卒業生年度別名簿を事務局へ

周年同窓会で名簿を作成されましたら、必ず同窓会事務局へ一部お送りください。よろしくご協力の程お願いします。

## 同窓生投稿欄への

寄稿をお待ちしています。

●昭和37年卒業(膳所高10回)のみなさん。今年同窓会総会で長崎和夫君が記念講演をします。多数ご出席ください。

昭和38年卒業(膳所高11回)  
山田燃料  
専務取締役 山田 勲  
草津市大路1丁目2・2  
TEL 0775・62・0275

★ 庶民の「正義の味方」として

# 「やるっきゃないね」と頑張る日々 小川恭子さん

昭和41年卒業（膳所高14回）

膳所高校卒業30周年になるので、今年は記念同窓会があります。ご協力をいただける方は…という手紙が舞い込んだ。「えっ」としばし絶句。30年も経ったあ？！

高校時代の印象は残念ながら強くない。覚えているのは初めて東北に行った修学旅行のことで、高校生活の前半を楽しんだ卓球部のことくらい。後半は、デザイナー志望だった関係で、勉強一筋の周囲から、微妙に浮き上がっていたからである。しかし、悪いものでも良く見えるようにするのが宣伝・広告ではないのか、などという浅薄な正義感にもとづく疑問（むろん、それは誤解であり、現在はむしろ、各種宣伝の重要性を嫌というほど認識させられているのだが）もあって、入試前日に進路を変更して法学部に進学した。ただ、この拙速な転換が、拭いきれない「やりのこし感」を生み、結局、大学卒業後四年間の公務員生活の後、仕事の中で、ようやく具体化してきた問題意識をもとに「正義の味方」をめざして司法試験と悪戦苦闘することになった。

しかし、最終的に私が選んだ、弁護士という仕事は、貧乏・失敗・屈辱・失恋など、マイナスの人生経験が、みんな肥やしになる、ありがたい職業である。依頼者の訴えに対する共感力が、より深まるからである。但し、「正義の味方」と、口でいうのはカッコ良いが、まさに、金にならず、骨が折れ、消耗する仕事の総称である。適用すべき条文や判例を説明する度に、「先生、ほな、弱いもんは、泣き寝入りせなあかんのですか」との、相談者のつきあがり胸にしみる。庶民が、「絶対おかしい」と、正義を求めて声をあげる時、損得抜きでその声に共感し援助する弁護士がいなければ、裁判を受ける権利も絵に描いた餅になる。やむなく、「庶民の気持ちを法廷へ産地直送」する、便利でおトクな宅急便として、今日も「やるっきゃないね」と頑張る日々である。同級生のみんまもがんばってるかな？

追伸 夫婦別性、早く民法を改正して欲しいですね。婚姻届けを出す時、夫とのジャンケンで負けて改姓したのですが、同窓会の時なんて本当に不便ですもの！

## ●プロフィール

小川 恭子（旧姓松原）  
生年月日／昭和22年1月2日  
略歴／同志社大学法学部法律学科卒。  
京都地方法務局勤務を経て昭和57年より  
大津市にて弁護士開業。  
得意分野は消費者問題など。  
現住所／大津市錦織三丁目12-7  
事務所／大津市京町三丁目4-12（滋賀第一法律事務所）



あの人は今…。



★ 「能」を通じて感動を伝える

# ボールを扇子に持ち替えて 吉浪寿晃さん

昭和59年卒業（膳所高32回）

此の度の阪神大震災で被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。

私は現在、古典芸能であります能楽の観世流シテ方として関西を中心に舞台活動及び愛好家の方々に謡曲、舞の指導を致しております。父が能楽師でありました影響で、5才頃から子方（子役）で舞台に出始め、自然にこの世界に入りました。東京芸術大学能楽専攻を卒業後、京都にて内弟子修業を経て現在に至っております。

膳所高在学中はバスケットボール部に所属し、須田武志先生指導の下、全国大会へも二度出場する事ができました。現在もOBチーム（膳所クラブ）に籍を置き、時間を見つけては楽しく汗を流しております。大学ではボールを扇子に持ち替え、能の稽古に専念致しました。あれ程熱中していましたバスケットから能一筋に切り替えられたのも何か不思議な気が致しております。

スポーツと能、全く方向の違うものとも思いますが、私にとりまして、バスケットを通じて得ました経験や精神的な面等、能楽師として生活する上でも何かと結びつくように思えます。シテ（主役）として舞台に立つということは、自分との、また周りとの闘いであり、勝敗では表われませんが一つの勝負と考えられます。また、複数の人間が力を合わせて一つの舞台を創るという点では、チームワークも必要だと思います。舞台の前日などは、高校時代の試合前の緊張感を思い出していたりしますから不思議です。

ところで皆さんは「能」というと、どんな印象をお持ちでしょうか。堅苦しい、しんきくさい、何を言っているのか解からない、という人がほとんどではないでしょうか。芝居等に比べて、音楽性、舞踊性に重点がおかれている事や、武家社会の中で育った芸能であるためか、この様な印象を持たれているのだと思いますが、能は力強く生きている生の芸術です。指揮者もなく、演者一人ひとりの気合のぶつかり合いによって成り、同じ演者、同じ演目でも二度と同じようには演じられません。まさに一期一会です。皆様もお気軽に能楽堂へ足を運んでみてください。きっと感動していただけると思います。

これからも一つひとつの舞台を大切に演じてゆきたいと思っています。

## ●プロフィール

吉浪 寿晃  
生年月日／昭和40年4月27日  
略歴／東京芸術大学卒  
観世流職分 井上嘉久師に師事  
平成4年独立  
吉浪松順会主宰  
能楽師（シテ方観世流準職分）  
現住所／大津市藤尾奥町20-12



# JUNGIDO

滋賀県立膳所高等学校同窓会報 ■ 遵義堂

100周年記念事業実行委員会が立ち上がりました。  
100周年に向けて、同窓会報「JUNGIDO」をますます充実させるため、情報提供やご寄稿など会員のみみなさまの積極的なご協力をお願い申し上げます。  
広報部会



